

2022(令和4)年度 部局マニフェスト ～私たちの組織使命と目標～

部局名	農業委員会事務局
役職	事務局長
氏名	堀 久仁寿
連絡先	0595-22-9720(内線2550)



業績目標の達成状況
5. 先進的な取り組みを行い、成果があった
4. 達成水準を上回る成果があった
3. 業績目標を達成した
2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった
1. 業績目標に取り組まなかった

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標1	関連の施策・基本事業No.1	〈現在の状態〉 農業委員会組織の運営が形骸化している。また、最重要課題である農地利用最適化の推進がなされていない地域がある。 ↓ 〈達成目標〉 農業委員・農地利用最適化推進委員の活動日数が月平均5日以上、委員数が過半数以上となるように指導を行う。 ※目標が達成した状態 農業委員・農地利用最適化推進委員が職務を効果的・効率的に遂行できる。	全体研修に加え、各地域における課題や分野別課題に対応した研修・調査を行う。
1. 農業委員・農地利用最適化推進委員の活動を活性化し活動の見える化を図る	農業委員会組織運営の充実（役員会・研修・調査の充実）		
◎部局目標2	関連の施策・基本事業No.2	〈現在の状態〉 農地パトロールによる非農地判断を行った農地がそのまま放置されている。耕作放棄地については、担い手の不足や獣害など今後も耕作される見込みがない。 ↓ 〈達成目標〉 担い手農家への利用集積を図る観点から、認定農業者への利用権設定を新規で50件以上行う。 ※目標が達成した状態 農地基本台帳が整備され、農地利用の最適化が図られる。	・非農地判断された農地の洗い出しと現況確認を行う。 ・農地利用意向調査の結果をもとに、農業委員・推進委員にマッチングデータを示す。
2. 農地利用最適化を推進する	農地利用状況調査・意向調査の実施		

達成状況（自己評価）	理由
2	両委員には、指導を行ってきましたが、目標の50%には届かず、達成率は27.5%となりました。特に農地利用最適化推進委員の達成率が低く、指導が足らなかったと思います。
4	集計は11月分の時点で、目標を超える83件の実績となりました。地域内の農業離れに危機感を持っている認定農業者が遊休農地の増加を防ごうとしていることが考えられます。